

令和5年度 「科学と人間生活」シラバス

科目名 「科学と人間生活」
単位数 2単位
対象学年 2学年、4学年（再履修）
使用教科書 科学と人間生活（第一学習社）科人705

学習の到達目標

- ・自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
- ・科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。
- ・身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活との関わりについての認識を深める。
- ・自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活との関わり方について考察できる。

学習内容

科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通して現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの化学技術と人間生活のあり方について学習する。

1. 科学技術の発展
2. 生命の科学（生物と光、微生物とその利用）
3. 物質の科学（材料とその再利用、衣料と食品）
4. 光や熱の科学（光の性質とその利用、熱の性質とその利用）
5. 宇宙や地球の科学（身近な天体と太陽系における地球、身近な自然景観と自然災害）

学習法のアドバイス

1. 中学校理科で学んだ内容をうけ、新たな科学への関心をもとう。
2. 授業の予習により課題を見つけ、復習で内容の理解を深めよう。

評価の方法

次の①～③について総合的に判断します。

- ① 各学期における定期テスト
- ② ノート・ファイルのまとめ
- ③ 勤怠状況、授業態度